

大学番号：私017

[平成31年度設置]

計画の区分： 学部の設置

届出

東北生活文化大学 美術学部 美術表現学科

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人三島学園
令和元年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名

職名・氏名 キョウカチョウ マツダ トモコ
教務課長 松田 知子

電話番号 022-272-7513
(夜間)

F A X 022-301-5602

e-mail dkyomu@mishima.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
例) 〇〇大学 △△学部 □□学科
(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例)
・大学の設置の場合：「〇〇大学」
・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 大学番号の欄については、平成31年4月2日付事務連絡「履行状況報告書の提出について
(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

美術学部

＜美術表現学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	11
4. 既設大学等の状況	12
5. 教員組織の状況	13
6. 附帯事項等に対する履行状況等	22
7. その他全般的事項	23

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

学校法人三島学園

(2) 大 学 名

東北生活文化大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒981-8585

宮城県仙台市泉区虹の丘一丁目18番地の2

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(79才 ト3/7) 浅尾 豊信 (平成20年7月)		
学 長	(サウ イ70才) 佐藤 一郎 (平成31年4月1日)		
学 部 長	(サウ ジュンイ) 佐藤 淳一 (平成31年4月1日)		
学科長等	(サウ ジュンイ) 佐藤 淳一 (平成31年4月1日)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成30年度に報告済の内容 → (30)

令和元年度に報告する内容 → (元)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合(令和元年度までの5年間)ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の 名称(学位)	学位又は学科の 分野	設置時の計画				備 考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
美術学部 美術表現学科 学士(美術)	美術関係	年 4	人 50	年次 人	人 200	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前的人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区 分	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度				平均入学定員 超 過 率	開設年度から 報告年度までの 平均入学定員 超過率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	50人 (—) [—]	一人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	0.9倍	一倍	
志願者数	70 (—) [—]	— () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []			
受験者数	70 (—) [—]	— () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []			
合格者数	70 (—) [—]	— () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []			
B 入学者数	45 (—) [—]	— () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []			
入学定員超過率 B/A	0.9												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を超えて報告書を提出する大学のみ記入してください。完成年度を超えていない場合は「—」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度				備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	45 [ー] (一)	ー [ー] (一)									
2 年次											
3 年次											
4 年次											
計	45 [ー] (ー)										

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ () 内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区 分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
					うち留学生数	
令和元年度	45 人	0 人	令和元年度	人	人	
令和2年度	人	人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
令和3年度	人	人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
令和4年度	人	人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
合 計	45 人	0 人		人	人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{45} = \boxed{0} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

＜美術学部 美術表現学科＞

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】 1/4

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置						兼任・ 兼担
			必	選	自	教	准	講	助	助		
			修	修	由	授	教	師	教	手		
大 学 共 通 教 養 科 目	人間と自然科学	化学Ⅰ	1前	2								1
		化学Ⅱ	1後	2								1
		有機化学Ⅰ	1後	2								1
		有機化学Ⅱ	2前	2								1
		生物学Ⅰ	1前	2								1
		生物学Ⅱ	1後	2								1
		環境学	2後	2								1
		統計学	1前	2								1
		数学	1後	2								1
	人間と社会	経済学	1前	2								1
		社会学Ⅰ	1前	2								1
		社会学Ⅱ	1後	2								1
		歴史Ⅰ	1前	2								1
		歴史Ⅱ	1後	2								1
		日本国憲法	1前	2								1
		法学概説	1後	2								1
	人間と文化	哲学Ⅰ	1前	2								1
		哲学Ⅱ	1後	2								1
		心理学Ⅰ	1前	2								1
		心理学Ⅱ	1後	2		1						1
		美術	1後	2								1
	言語とコミュニケーション	生活文化論	1前	2								1
		英語Ⅰ	1前	2								1
		英語Ⅱ	1後	2								1
		英会話Ⅰ	1前	1								1
		英会話Ⅱ	1後	1								1
		仏語Ⅰ	1前	1								1
		仏語Ⅱ	1後	1								1
		中国語	1前	1								1
		日本語基礎	1前	2								1
		国語表現法	1後	2								1
	スポーツ	情報基礎学	2前	2								1
		スポーツ身体科学	1後	2								1
	キャリア形成	スポーツ	1通	2								1
武道		1前	1		1							
スタディスキルズ		1前	1		1						1	
ライフデザイン		1後	1									
キャリア開発Ⅰ		2前	1		1							
キャリア開発Ⅱ		2後	1		1							
キャリア開発Ⅲ		2後	1								1	
キャリア開発Ⅳ		3前	1								1	
小計(43科目)	-	4	68	0	4	0	0	0	0	19		
	小計(43科目)	-	4	68	0	4	0	0	0	0	19	
専 門 科 目	基礎科目	絵画基礎Ⅰ	1前	2		1	1					
		(映像メディア表現を含む。)										
		絵画基礎Ⅱ	1後	2		1						
		彫刻基礎Ⅰ	1前	2		1						
		彫刻基礎Ⅱ	1後	2		1						
		工芸基礎Ⅰ	1前	2				2				3
		(プロダクト制作を含む。)										
		工芸基礎Ⅱ	1後	2				2				3
		デザイン基礎Ⅰ	1前	2		1	1					
		(映像メディア表現を含む。)										
		デザイン基礎Ⅱ	1後	2		1	1					
		メディア芸術基礎Ⅰ	1前	2		1						
メディア芸術基礎Ⅱ	1後	2		1								
小計(10科目)	-	10	10	0	4	1	3	0	0	3		

【令和元年度】 1/4

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置						兼任・ 兼担
			必 修	選 修	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
大 学 共 通 教 養 科 目	人間と自然科学	化学Ⅰ	1前	2								1
		化学Ⅱ	1後	2								1
		有機化学Ⅰ	1後	2								1
		生物学Ⅰ	1前	2								1
		生物学Ⅱ	1後	2								1
		統計学	1前	2								1
		数学	1後	2								1
	人間と社会	経済学	1前	2								1
		社会学Ⅰ	1前	2								1
		社会学Ⅱ	1後	2								1
		歴史Ⅰ	1前	2								1
		歴史Ⅱ	1後	2								1
		日本国憲法	1前	2								1
		法学概説	1後	2								1
	人間と文化	哲学Ⅰ	1前	2								1
		哲学Ⅱ	1後	2								1
		心理学Ⅰ	1前	2								1
		心理学Ⅱ	1後	2								1
		美術	1後	2		1						1
	言語とコミュニケーション	生活文化論	1前	2								1
		英語Ⅰ	1前	2								1
		英語Ⅱ	1後	2								1
		英会話Ⅰ	1前	1								1
		英会話Ⅱ	1後	1								1
		仏語Ⅰ	1前	1								1
		仏語Ⅱ	1後	1								1
		中国語	1前	1								1
		日本語基礎	1前	2								1
		国語表現法	1後	2								1
	スポーツ	スポーツ身体科学	1後	2								1
		スポーツ	1通	2								1
	スポーツ	武道	1前	1		1						
		スタディスキルズ	1前	1		1						
	キャリア形成	ライフデザイン	1後	1								
		小計(34科目)		4	56	0	3	0	0	0	0	16
専 門 科 目	基礎科目	絵画基礎Ⅰ	1前	2		1	1					
		(映像メディア表現を含む。)										
		絵画基礎Ⅱ	1後	2		1						
		彫刻基礎Ⅰ	1前	2		1						
		彫刻基礎Ⅱ	1後	2		1						
		工芸基礎Ⅰ	1前	2				2				3
		(プロダクト制作を含む。)										
		工芸基礎Ⅱ	1後	2				2				3
		デザイン基礎Ⅰ	1前	2		1	1	1				
		(映像メディア表現を含む。)										
		デザイン基礎Ⅱ	1後	2		1	1	1				
		メディア芸術基礎Ⅰ	1前	2		1						
		メディア芸術基礎Ⅱ	1後	2		1						
小計(10科目)	-	10	10	0	4	1	3	0	0	3		

【認可時又は届出時】 2/4

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
美 術	専 門 科 目	洋画Ⅰ	2前	2			1					
		洋画Ⅱ	2後	2			1					
		洋画Ⅲ	3前	2			1					
		洋画Ⅳ	3後	2			1					
		日本画Ⅰ	2前	2								1
		日本画Ⅱ	2後	2								1
		日本画Ⅲ	3前	2								1
		日本画Ⅳ	3後	2								1
		版画Ⅰ	2前	2					1			
		版画Ⅱ	2後	2					1			
		版画Ⅲ	3前	2					1			
		版画Ⅳ	3後	2					1			
		壁画Ⅰ	2前	2								1
		壁画Ⅱ	2後	2								1
		壁画Ⅲ	3前	2								1
		壁画Ⅳ	3後	2								1
		彫刻Ⅰ	2前	2				1				
		彫刻Ⅱ	2後	2				1				
		彫刻Ⅲ	3前	2				1				
		彫刻Ⅳ	3後	2				1				
		人形Ⅰ	2前	2								1
		人形Ⅱ	2後	2								1
		人形Ⅲ	3前	2								1
		人形Ⅳ	3後	2								1
		小計(24科目)		-	48			2	0	1	0	0
工 芸	専 門 科 目	陶芸Ⅰ	2前	2					1			
		陶芸Ⅱ	2後	2					1			
		陶芸Ⅲ	3前	2					1			
		陶芸Ⅳ	3後	2					1			
		漆芸Ⅰ	2前	2								1
		漆芸Ⅱ	2後	2								1
		漆芸Ⅲ	3前	2								1
		漆芸Ⅳ	3後	2								1
		染織Ⅰ	2前	2					1			
		染織Ⅱ	2後	2					1			
		染織Ⅲ	3前	2					1			
		染織Ⅳ	3後	2					1			
		ガラスアートⅠ	2前	2								1
		ガラスアートⅡ	2後	2								1
		ガラスアートⅢ	3前	2								1
		ガラスアートⅣ	3後	2								1
		小計(16科目)		-	32			0	0	2	0	0
デ ザ イ ン	専 門 科 目	視覚デザインⅠ	2前	2			1					
		視覚デザインⅡ	2後	2			1					
		視覚デザインⅢ	3前	2			1					
		視覚デザインⅣ	3後	2			1					
		情報デザインⅠ	2前	2				1				
		情報デザインⅡ	2後	2				1				
		情報デザインⅢ	3前	2				1				
		情報デザインⅣ	3後	2				1				
		プロダクトデザインⅠ	2前	2					1			
		プロダクトデザインⅡ	2後	2					1			
		プロダクトデザインⅢ	3前	2					1			
		プロダクトデザインⅣ	3後	2					1			
		小計(16科目)		-	24			1	1	1	0	0
メ デ ィ ア 芸 術	専 門 科 目	マンガ・イラストⅠ	2前	2								1
		マンガ・イラストⅡ	2後	2								1
		マンガ・イラストⅢ	3前	2								1
		マンガ・イラストⅣ	3後	2								1
		アニメ・ゲームⅠ	2前	2			1					
		アニメ・ゲームⅡ	2後	2			1					
		アニメ・ゲームⅢ	3前	2			1					
		アニメ・ゲームⅣ	3後	2			1					
小計(8科目)		-	16			1	0	0	0	0	2	

【令和元年度】 2/4

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置						兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	調 師	助 教	助 手		
美術												
	小計(0科目)	-	0	0	0	0	0	0	0	0		
	小計(0科目)	-	0	0	0	0	0	0	0	0		
専門 科目												
	小計(0科目)	-	0	0	0	0	0	0	0	0		
	小計(0科目)	-	0	0	0	0	0	0	0	0		
デザイン												
	小計(0科目)	-	0	0	0	0	0	0	0	0		
	小計(0科目)	-	0	0	0	0	0	0	0	0		
メディア芸術												
	小計(0科目)	-	0	0	0	0	0	0	0	0		
	小計(0科目)	-	0	0	0	0	0	0	0	0		

【認可時又は届出時】 3/4

科目区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必 修	選 修	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
美術理論	色彩学	1前	2				1				
	美術史Ⅰ	1前	2			1					
	美術史Ⅱ	1後	2			1					
	デザイン概論	2後	2			1					
	美学Ⅰ	2前	2								1
	美学Ⅱ	2後	2								1
	美術鑑賞Ⅰ	2後	2			1					
	美術鑑賞Ⅱ	4通	4			1					
	メディア芸術論	3前	2								1
	地域工芸論	3後	2								1
	論文演習Ⅰ	2前	1			1					
	論文演習Ⅱ	2後	1			1					
	論文演習Ⅲ	3前	1			1					
	論文演習Ⅳ	3後	1			1					
小計(14科目)		-	4	22		2	0	1	0	0	3
専門関連科目	製図Ⅰ	2前	1								1
	製図Ⅱ	2後	1								1
	図学Ⅰ	3前	1								1
	図学Ⅱ	3後	1								1
	インテリアデザインⅠ	4前	1								1
	インテリアデザインⅡ	4後	1								1
	写真Ⅰ	4前	1								1
	写真Ⅱ	4後	1								1
	美術特別講義Ⅰ	1前	1			1					
	美術特別講義Ⅱ	1後	1								1
	美術特別講義Ⅲ	2前	1								1
	美術特別講義Ⅳ	2後	1								1
	美術特別講義Ⅴ	4前	1								1
	美術特別講義Ⅵ	4後	1								1
	美術施設開放対象講座Ⅰ	3後	2								1
	美術施設開放対象講座Ⅱ	4前	2								1
小計(16科目)		-	0	18		1	0	0	0	0	8
応用科目	地域創生演習Ⅰ	1前	1			1	1				
	地域創生演習Ⅱ	1後	1			1		1			
	地域創生演習Ⅲ	2前	1			1		1			
	地域創生演習Ⅳ	2後	1			1		2			
	地域創生演習Ⅴ	3前	1			3					
	地域創生演習Ⅵ	3後	1			2					
小計(6科目)		-	2	4		5	1	4	0	0	
卒業研究	卒業研究Ⅰ	4前	6			5	1	4			
	卒業研究Ⅱ	4後	6			5	1	4			
小計(2科目)		-	12			5	1	4	0	0	
合計(151科目)		-	32	242	0	5	1	4	0	0	
教職に関する科目	教育原理	2前	2								1
	教職概論	1前	2								1
	教育制度論	3前	2								1
	教育心理学	2前	2								1
	特別支援教育	3前	1								1
	教育課程論	2後	2								1
	道徳教育の指導法	3前	2								1
	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	2前	2								1
	教育方法論	2後	2								2
	生徒指導の理論と方法A(生徒指導の理論及び方法を学ぶ。)	3後	2								1
	教育相談	3後	2								1

【令和元年度】 3/4

科目区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必 修	選 修	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
美術理論	色彩学	1前	2					1			
	美術史Ⅰ	1前	2			1					
	美術史Ⅱ	1後	2			1					
小計(3科目)		-	0	6	0	1	0	1	0	0	
専門関連科目	美術特別講義Ⅰ	1前				1					
	美術特別講義Ⅱ	1後									1
	小計(2科目)	-	0	2	0	1	0	0	0	0	1
	地域創生演習Ⅰ	1前	1			1	1				
応用科目	地域創生演習Ⅱ	1後	1			1		1			
	小計(2科目)	-	2	0	0	1	1	1	0	0	
小計(〇科目)		-									
合計(51科目)		-	0	74	0	5	1	4	0	0	
教職に関する科目	教職概論	1前	2								1

【認可時又は届出時】 4/4

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置						兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 修	自 由	教 授	准 教 授	助 教	助 手	助 手	助 手	
教職に 関する 科目	教育実習Ⅰ(事前事後指導を含む。)	4通		5								2
	教育実習Ⅱ(事前事後指導を含む。)	4通		3								2
	教職実践演習(中・高)	4後		2								2
	美術科教育法Ⅰ	3通		4								1
	美術科教育法Ⅱ	4通		4								1
	工芸科教育法	3通		4		1						
	小計(17科目)	-	0	43	0	1	0	0	0	0	0	7
博物 館に 関する 科目	生涯学習概論	1後		2								1
	博物館概論	1前		2								1
	博物館経営論	3前		2								1
	博物館資料論	2後		2								1
	博物館資料保存論	2前		2								1
	博物館展示論	3後		2								1
	博物館情報・メディア論	2後		2								1
	博物館教育論	1後		2								1
	博物館実習Ⅰ(学内・見学実習を含む。)	3前 3後		2		1						
	博物館実習Ⅱ(施設実習、実習・事後指導を含む。)	4前		1		1						
	小計(14科目)	-	0	19	0	1	0	0	0	0	0	5
卒業要件及び履修方法												
必修科目32単位、大学共通教養科目の中から22単位以上を修得すること。また、「美術・工芸コース」では、専門科目の「美術」「工芸」区分の科目から16単位以上、「デザイン・メディア芸術コース」では、専門科目の「デザイン」「メディア芸術」区分の科目から16単位以上を修得し、124単位以上を修得すること。 (履修科目の登録の上限:50単位(年間)) 教職に関する科目、博物館に関する科目は卒業要件単位に含めない。												

【令和元年度】 4/4

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置						兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 修	自 由	教 授	准 教 授	助 教	助 手	助 手	助 手	
教職に 関する 科目												
	小計(1科目)	-	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1
博物 館に 関する 科目	生涯学習概論	1後		2								1
	博物館概論	1前		2								1
	博物館教育論	1後		2								1
	小計(3科目)	-	0	6	0	0	0	0	0	0	0	2
卒業要件及び履修方法												
必修科目32単位、大学共通教養科目の中から22単位以上を修得すること。また、「美術・工芸コース」では、専門科目の「美術」「工芸」区分の科目から16単位以上、「デザイン・メディア芸術コース」では、専門科目の「デザイン」「メディア芸術」区分の科目から16単位以上を修得し、124単位以上を修得すること。 (履修科目の登録の上限:50単位(年間)) 教職に関する科目、博物館に関する科目は卒業要件単位に含めない。												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には、設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字の赤字として記入してください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ①授業科目表に関する変更内容

【令和元年度】

特になし。

- (注) ・ 2 (1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 ・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
14 科目	137 科目	0 科目	151 科目	科目 []	科目 []	科目 []	科目 []	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

「該当なし」

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているに関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{\#VALUE!} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	東北生活文化大学短期 大学部と共用(収容定 員200名、必要面積 2,000㎡) 同高等学校と共用(高 校収容定員:1,170 名、必要面積81,900 ㎡)			
	校 舎 敷 地	10,211㎡	8,992㎡	36,912㎡	56,115㎡				
	運動場用地	0㎡	44,206㎡	0㎡	44,206㎡				
	小 計	10,211㎡	53,198㎡	36,912㎡	100,321㎡				
	そ の 他	0㎡	1,354㎡	3,629㎡	4,983㎡				
	合 計	10,211㎡	54,552㎡	40,541㎡	106,304㎡				
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	東北生活文化大学短期 大学部と共用(収容定 員200名、必要面積 2,350㎡)、同高等学校 と共用(収容定員 1,170名、必要面積				
	9,971㎡ (9,971㎡)	2,881㎡ (2,881㎡)	15,983㎡ (15,983㎡)	28,835㎡ (28,835㎡)					
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体			
	12室	5室	36室	2室 (補助職員 0人)	0室 (補助職員 0人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	美術学部 美術表現学科			10 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 点	視聴覚資料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点	大学全体 図書 71,958 [5,495] 学術雑誌 222 [41]	
	美術学部	15,597 [2,082] (14,597 [2,082])	83 [18] (83 [18])	0 [0] (0 [0])	584 (584)	23 (23)	0 (0)		
	計	(15,597 [2,082] (14,597 [2,082])	(83 [18] (83 [18])	(0 [0] (0 [0])	(584 (584)	(23 (23)	(0 (0)		
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体		
	672.06 ㎡		76 席		約74,000冊				
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体		
	1,455 ㎡								
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
		教員1人当り研究費等	300千円	300千円	図書購入費	2,000千円	2,000千円	2,000千円	
	共同研究費等	— 千円	— 千円	設備購入費	10,000千円	7,000千円	7,000千円		
	学生1人当り	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
	納付金	1,320千円	1,040千円	1,040千円	1,040千円	— 千円	— 千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常経費補助金、資産運用収入、寄付金収入 等						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はA-C対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和元年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(元)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学 学 校 名	東北生活文化大学									備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所 在 地	定員変更 (10) 平成31年学生 募集停止
	年	人	年次 人	人		倍	年度	年度	年度	
家政学部	4	58	3年次 2人		学士 (家政)	0.68	-	昭和33	-	
家政学科	4	58	2	232	学士 (家政)	0.68	-	昭和33	宮城県仙台市青葉区石巻1丁目16番地4の2	
生活美術学科	4	-	-	-	-	-	-	昭和40	同上	
美術学部	4	50	0	200	-	0.90	-	平成31	宮城県仙台市青葉区石巻1丁目16番地4の2	
美術表現学科	4	50	0	200	学士 (美術)	0.90	-	平成31	同上	
大学全体	4		2	432	-	0.77	-	-	-	
大学 学 校 名	東北生活文化大学短期大学部									備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所 在 地	
生活文化学科	2	100	-	200	短期大学士	0.81	-	昭和26	宮城県仙台市青葉区石巻1丁目16番地4の2	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学（大学院含む）、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校種ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
（専攻科及び別科を除く）。
・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き（平成31年度改訂版）」と同じです。
・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

【認可時又は届出時】

-13-

-14-

【認可時又は届出時】		【令和元年度】		【令和2年度】		【令和3年度】		【令和4年度】	
専任・兼任の別	職名	専任・兼任の別	職名						
	氏 名 <就任（卒業）年月> 所属学校等		氏 名 <就任（卒業）年月> 所属学校等						
	担当授業科目名		担当授業科目名						
兼任	講師 原野 明子 (46) <平成32年4月> 専士（生活美術） マンガ・イラストⅠ マンガ・イラストⅡ								
兼任	講師 及川（小林）聡子 (48) <平成32年4月> 専士（美術教育（日本画）） 日本画Ⅰ 日本画Ⅱ 日本画Ⅲ 日本画Ⅳ								
兼任	講師 安孫子（雨塚）典初 (50) <平成32年4月> 専門学校卒 マンガ・イラストⅡ マンガ・イラストⅢ								
兼任	講師 植田 一美 (30) <平成32年4月> 高校生 人形Ⅰ 人形Ⅱ 人形Ⅲ 人形Ⅳ								
兼任	講師 菊合 暢子 (36) <平成31年4月> 専士（生活美術） 工芸基礎Ⅰ （「ゆ」制作を含む。） 工芸基礎Ⅱ※ ガラスアートⅠ ガラスアートⅡ	兼任	講師 菊合 暢子 (36) <平成31年4月> 専士（生活美術） 工芸基礎Ⅰ （「ゆ」制作を含む。） 工芸基礎Ⅱ※ ガラスアートⅠ ガラスアートⅡ						
兼任	講師 山口 綾子 (44) <平成31年4月> 専士（生活美術） 工芸基礎Ⅰ （プロダクト制作を含む。） 工芸基礎Ⅱ※ ガラスアートⅢ ガラスアートⅣ	兼任	講師 山口 綾子 (44) <平成31年4月> 専士（生活美術） 工芸基礎Ⅰ （プロダクト制作を含む。） 工芸基礎Ⅱ※ ガラスアートⅢ ガラスアートⅣ						
兼任	講師 今井 直樹 (56) <平成31年4月> 政治学専士 地域工芸論 生活文化論	兼任	講師 今井 直樹 (56) <平成31年4月> 政治学専士 地域工芸論 生活文化論						
兼任	講師 湯田 敬彦 (64) <平成32年4月> 専士（美術） 版画Ⅰ 版画Ⅱ 版画Ⅲ 版画Ⅳ インテリアデザインⅠ インテリアデザインⅡ								
兼任	講師 三浦 隆 (37) <平成33年4月> 専士（文学） メディア芸術論								
兼任	講師 藤沢 裕太郎 (68) <平成34年4月> 芸術学専士 写真Ⅰ 写真Ⅱ								
兼任	講師 佐々木 晃 (53) <平成31年4月> 芸術学専士 美術教諭試験対策講座Ⅰ 美術教諭試験対策講座Ⅱ ライフデザイン 教職概論 生徒指導の理論と方法A （生徒指導の理論及び方法を学ぶ。）	兼任	講師 佐々木 晃 (53) <平成31年4月> 芸術学専士 美術教諭試験対策講座Ⅰ 美術教諭試験対策講座Ⅱ ライフデザイン 生徒指導の理論と方法A （生徒指導の理論及び方法を学ぶ。）						
兼任	講師 伊藤 恵夫 (61) <平成31年4月> 専士（美術） 美術特別講座Ⅰ	兼任	講師 伊藤 恵夫 (61) <平成31年4月> 専士（美術） 美術特別講座Ⅰ						
兼任	講師 及川 久典 (61) <平成32年4月> 専士（家政） 美術特別講座Ⅱ								
兼任	講師 伊藤 豊 (60) <平成32年4月> 専門学校卒 美術特別講座Ⅲ								
兼任	講師 鈴木 欣哉 (48) <平成34年4月> 専門学校卒 美術特別講座Ⅳ								

【認可時又は届出時】			【令和元年度】			【令和2年度】			【令和3年度】			【令和4年度】		
専任・非常勤・兼任の別	職名	氏 名 (氏 名) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・非常勤・兼任の別	職名	氏 名 (氏 名) <就任(予定)年月> 保有学位等									
		担当授業科目等			担当授業科目等									
兼任	講師	藤田 幸彦 (49) <平成31年4月> 博士(教育学)	兼任	講師	藤田 幸彦 (49) <平成31年4月> 博士(教育学)									
		担当 I 哲学Ⅱ			哲学Ⅰ 哲学Ⅱ									
兼任	講師	上之原 博子 (61) <平成31年4月> 学士(文学)	兼任	講師	上之原 博子 (61) <平成31年4月> 学士(文学)									
		実務Ⅰ 実務Ⅱ			実務Ⅰ 実務Ⅱ									
兼任	講師	村山 茂 (63) <平成31年4月> 博士(文学)	兼任	講師	村山 茂 (63) <平成31年4月> 博士(文学)									
		仏語Ⅰ 仏語Ⅱ			仏語Ⅰ 仏語Ⅱ									
兼任	講師	高橋 亨 (37) <平成31年4月> 博士(文学)												
		中国語												
兼任	講師	清水 浩一郎 (43) <平成31年4月> 博士(文学)	兼任	講師	清水 浩一郎 (43) <平成31年4月> 博士(文学)									
		日本語基礎 国語表現法			日本語基礎 国語表現法 中国語									
兼任	講師	加美山 裕子 (49) <平成31年4月> 学士(文学)												
		通商教育の進歩 異文化教育Ⅰ 異文化教育Ⅱ												
兼任	講師	須藤 由子 (63) <平成31年4月> 教育学士												
		特別活動及び総合的な学習の時間 の指導法												
兼任	講師	伊藤 優 (52) <平成31年4月> 学士(文学)	兼任	講師	伊藤 優 (52) <平成31年4月> 学士(文学)									
		生涯学習推進 博物館推進 博物館教育			生涯学習推進 博物館推進 博物館教育									
兼任	講師	安原 健男 (63) <平成31年4月> 学士(文学)												
		博物館経営論 博物館展示論												
兼任	講師	平塚 均 (68) <平成31年4月> 学士(文学)												
		博物館資料論 博物館資料保存論												
兼任	講師	佐藤 真 (67) <平成31年4月> 学士(文学)												
		博物館情報・メディア論												
兼任	講師	小谷 龍介 (60) <平成31年4月> 博士(文化科学)												
		博物館実習Ⅰ (学内・見学実習を含む。)												
			兼任	講師	池田 一真 (41) <平成31年4月> 学士(文学)									
					地域創生実習Ⅰ									
			兼任	講師	和田 文彦 (53) <平成31年4月> 教育学士									
					地域創生実習Ⅱ									
			兼任	講師	笠岡 賢二 (66) <平成31年4月> 博士(教育学)									
					地域創生									

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和元年度】

「特になし。」

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 認可で設置された大学等の専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
10	10
名	名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十条別表第一により算出される専任教員数を記入してください。

(2)-② 専任教員数【大学】

設置時の計画					現在（報告時）の状況				
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (A)	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)
5	1	4	0	10	5	1	4	0	10
(5)	(1)	(4)	(0)	(10)					
現在（報告時）の完成年度時の状況					現在（報告時）の完成年度時の計画				
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (C)	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (D)
5	1	4	0	10	5	1	4	0	10
[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。

・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。

・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査委員会の意見により、

完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、

[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員の うち、定年を延長 して採用する教員数
65	0	2
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、

および、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている

教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。

・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二桁書きで記入

し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C）}}{\text{設置時の計画（A）}} = \frac{10}{10} = 100 \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況（B）}} = \frac{0}{10} = 0 \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

「該当なし」

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由					
合計（D）						後任補充状況の集計（E）						
就任を辞退した教員数			担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）		
人		必修		科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
		選択		科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
		自由		科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
		計		科目	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由					
合 計 (F)					後任補充状況の集計 (G)							
辞任した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
〇〇	人	必修		科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
		選択		科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
		自由		科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
		計		科目	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
- 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合 計 (D) + (F)						後任補充状況の集計 (E) + (G)				
辞任等した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)
人		必修		科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
		選択		科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
		自由		科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
		計		科目	計	科目	計	科目	計	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{ 合計 (D) + (F)}}{(2) - ② \text{ 設置時の計画 (A)}} = \frac{0}{0} = \frac{\#DIV/0!}{\%}$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
合 計					後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および() 書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
認 可 時 (平成30年)	・完成年度前に、定年 規程に定める退職年齢 を超える専任教員の割合 が比較的高いことから、 定年規程の趣旨を踏まえた 適切な運用に努めるとともに、 教員組織編制の将来構想に ついて検討すること。	遵守事項 完成年度前に定年を迎える 専任教員については、「設 置の趣旨等を記載した書類 項目オ」に記載した通り、 特任教員としての継続雇用 をすることとしている。そ の他教員組織について、設 置届出書の記載に加えて、 新たに若手教員の採用を計 画している。	履行中
設置計画履行状況 調査時 (令和元年)	・完成年度前に、定年 規程に定める退職年齢 を超える専任教員の割合 が比較的高いことから、 定年規程の趣旨を踏まえた 適切な運用に努めるとともに、 教員組織編制の将来構想に ついて検討すること。	遵守事項 完成年度前に定年を迎える 専任教員については、「設 置の趣旨等を記載した書類 項目オ」に記載した通り、 特任教員としての継続雇用 をすることとしている。そ の他教員組織について、設 置届出書の記載に加えて、 新たに若手教員の採用を計 画している。	履行中

(注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。

・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。

・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。

・ 「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<美術学部 美術表現学科>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
① 修了要件単位数 必修科目32単位、大学共通教養科目の中から22単位以上を修得すること。また、「美術・工芸コース」では、専門科目の「美術」「工芸」区分の科目から16単位以上、「デザイン・メディア芸術コース」では、専門科目の「デザイン」「メディア芸術」区分の科目から16単位以上修得し、124単位以上修得すること。 ② 施設・設備 a 講義室 12室 (1283.59㎡) b 自習室 2室 (105.36㎡) c 図書 15,597冊	② 学生の修学環境を改善するため、ラーニングcommons的スペースを(67.86㎡)設けた。 図書もメディア芸術、アニメ、イラスト系を中心に増書予定でいる。

(注)・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策(FD・SD活動含む)

① 実施体制 a 委員会の設置状況 「委員会設置規程」に基づき、「東北生活文化大学及び東北生活文化大学短期大学部FD委員会」を設置し、「東北生活文化大学・東北生活文化大学短期大学部FD委員会規程」により運営している。 b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む) 原則として8月を除き毎月1回開催している。何れも8割を超す委員の出席があった。今後、同程度の開催及び同程度の出席者動員を行うこととしている。 c 委員会の審議事項等 審議事項は委員会規程で規定する、教員セミナーに関する事項、学生による授業評価に関する事項、教員研修会に関する事項、FD活動報告書に関する事項、SD研修の共同実施に関する事項、その他教員の資質向上に関する事項等である。 ② 実施状況 a 実施内容 ・公開授業及び授業検討会(教員相互の授業参観と授業内容の検討) ・教員セミナー(教員の教育・研究の紹介、優秀教員の授業方法の紹介、内外の講師等による講演、FD活動に係る報告・講習等) b 実施方法 ・公開授業週間を設け教員相互が授業を参観し、当該授業に対する意見交換及び検討を行う。なお、公開授業は原則として全ての授業を対象とする。 ・FD委員会において、本学の教育内容の改善(教職員の資質向上を含む)を目途とした研修内容を設定し教員セミナーを開催する。 c 開催状況(教員の参加状況含む) ・公開授業週間について、今年度前期は6月17日～6月28日、後期は11月11日～11月22日の計4週間を予定している。因みに昨年度も同様の時期に開催、生活美術学科の教員は全ての教員が1科目以上の授業に参観した。 ・教員セミナーについて、今年度は昨年と同様に合計7回程度開催する予定である。第1回目は5月10日で、教員の教育・研究の紹介を行い、原則として全ての教員に出席を求めている。	
--	--

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・公開授業を通して、当該授業担当教員及び参観教員が各々授業改善に取り組んでいく。
- ・学生に対する授業評価アンケートを各教員が考察し授業改善に取り組み、その結果を『FD活動報告書』にまとめる。
- ・FDセミナーで取り扱われた課題を踏まえて、各担当部署が改善への取り組みを推進していく。既にルーブリックの活用などは教務委員会及び教務課が主体となって取り組め等を行っている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・前期末及び後期末の授業終了時に原則として全ての授業を対象として実施する予定である。

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・アンケートの集計結果を『FD活動報告書』としてまとめ教員に配布、学生閲覧用としては図書館に配架する予定である。

(注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

「該当なし」

① 体制

- a 委員会の設置状況（各区分を踏まえた委員構成を踏まえた委員の追加や交代状況含む）
- b 委員会の開催状況（回数や開催日など）
- c 委員会の審議事項等
- d その他

② 審議状況

- a 審議した内容
- b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況
- c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

学部設置に伴い、本学園寄附行為、本学学則及び緒規程を一部改正すると共に、新たに「東北生活文化大学美術学部美術表現学科会議申し合わせ」を制定し定例の会議を開催している。また、美術の教育・研究を専門領域にする学長以下、学部の教員配置（一部非常勤教員を除く）を届出通りに行うことで、東北地方の美術の教育・研究を推進するとの設置趣旨に沿ったガバナンス体制は整ったと判断できる。教育環境については、デジタル機材など所定の授業を行えるだけの教室及び設備を整備し、現在新たなカリキュラムの下、滞りなく教育活動が行われている。人材育成に係る学修成果については、少なくとも前期末まで待って自己点検・評価する予定である。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・令和2年5月 公表予定

b 公表方法

- ・自己点検・評価報告書を刊行し、近隣大学、同分野の大学及び教職員に配布する。学生閲覧用として図書館に配架する。
- ・大学ホームページ上に公開する。

③ 認証評価を受ける計画

・令和2年度に評価機関（日本高等教育評価機構）の評価を受審することとして準備を進めている。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和元年度）

a ホームページへの公表予定の有無 (☒ 有 ・ ☐ 無)

b 公表有の場合の公表（予定）時期 (年 月) 通知後、速やかに公表する予定である。

b 公表無の場合の特段の理由 ()

(注) ・ 今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。